

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図) - 2016年4~6月期 -

調査対象：県内企業 567 社

調査方法：アンケート方式 (5月上旬 郵送回収)

回答企業：272 社(回答率 48.0%)

業種別内訳：製造業 158 社 非製造業 114 社

概況

※本調査は、消費増税延期発表前に実施されたものである。

今回の産業天気図は、世界経済の減速の影響や国内景気の足踏みが続くものの、「曇り一部雨」が減り「曇り」が増えて、やや持ち直す模様となっている。

製造業では、電子部品・デバイスはスマホ販売の一服などから「雨」へ、輸送用機械では軽自動車増税の影響が残る中、年度末需要の反動減もあり「曇り一部雨」へ各々後退している。一方、飲・食料品はコンビニ向けの飲・食料品需要の拡大、冷蔵等の季節商品の出足が良好で「晴れ一部曇り」へ、紙加工品等は段ボール箱の需要が上向き「曇り」へ、化学・プラスチック・ゴム製品では後発薬品の売上増や食品用プラスチック容器等の売上が順調で「曇り」へ各々改善している。

非製造業では、一般建設が公共工事の一巡や設備投資の停滞から「曇り」へ後退している。一方、卸売では、飲・食料品で夏季用季節商品が増加し、不動産は、賃貸住宅では駅近などの好条件の需要が改善し、各々「曇り」へ持ち直している。

先行きについては、非製造業では変化がなかったものの、製造業では改善と後退が相半ばし、全体では僅かに「曇り」空が広がる見通しである。

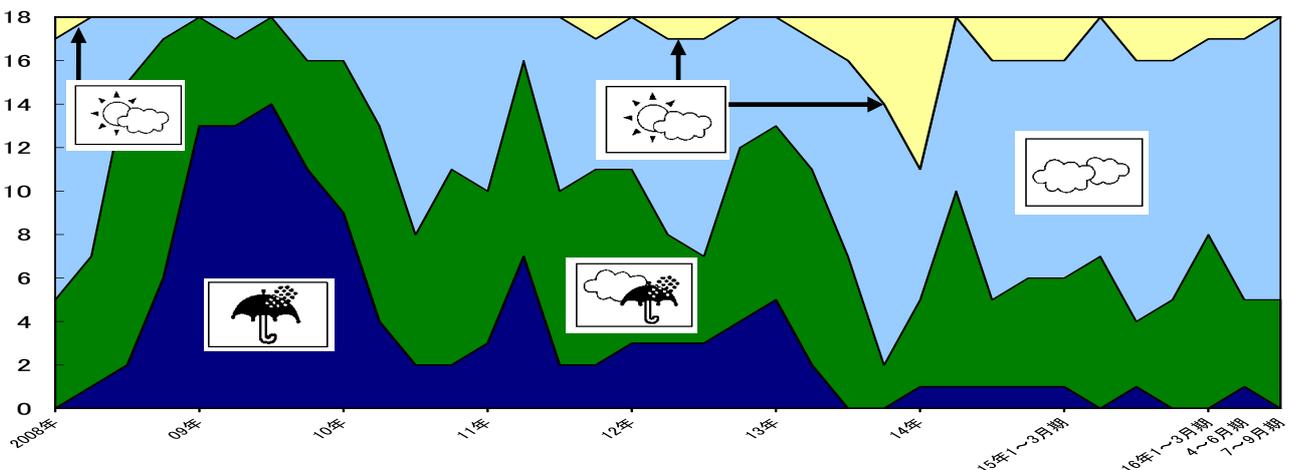
製造業では、一般機械器具は、国内向け自動車用工作機械が落ち込み「曇り一部雨」へ、飲・食料品は夏季用季節商品の増産が一服し「曇り」へ各々後退する見通しである。一方、電子部品・デバイスではテレビ画面の高精細化に対応する電子材料・部品が上向き「曇り一部雨」へ、金属製品は海外向け自動車部品が期待されることから「曇り」へ各々持ち直す見通しである。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2016年 1~3月期(前回)	0	1	9	8	0
2016年 4~6月期(今回)	0	1	12	4	1
2016年 7~9月期(先行き)	0	0	13	5	0

(業種数)

産業天気図



(注) 天気マークと BSI 基準の目安

天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
BSI	100 以下~50 以上	50 未満~20 以上	20 未満~-20 超	-20 以下~-50 超	-50 以下~-100 以上